

令和4年度

湯沢よつばこども園

施設関係者評価委員会



超人ネーガー 交通安全教室

令和5年3月10日（金） 15:30～

湯沢よつばこども園

令和4年度 湯沢よつばこども園

施設関係者評価委員会 次第

期 日 令和5年 3月10日(金) 15:30~
場 所 湯沢よつばこども園子育て支援室

【出席者】

〔理事〕高橋大匡様 〔教育関係者〕佐藤かなえ様
〔父母の会会長〕半田莉乃様
〔現民生委員・苦情解決委員〕藤川静子様
〔園長〕佐藤整 〔副園長〕岸直樹 〔主幹教諭〕菅原真弓 〔記録〕柴田睦子
〔子育て支援センター〕高橋千恵子

(司会) 菅原

1 開 会

2 園長あいさつ

3 委員紹介(副園長)

4 今年度の取り組みについて(園長)

5 園評価と保護者アンケートの結果について(主幹)

6 双葉子育て支援センター「にこにこ」について(高橋)

7 意見交換

8 その他

9 閉 会



お祭りごっこ

施設関係者評価委員会 記録

1 開 会

2 園長挨拶

- ・忙しい中出席していただきありがたい。コロナの影響で教育・保育活動もいろいろと制限されてきた中、皆様のご協力により無事に1年を終えることができた。
- ・コロナによる学級閉鎖や休園などはあったが、子どもの大きな事故や怪我は無かった。
- ・保護者からの苦情などは無く、園と保護者との信頼関係を構築しながら子どもたち一人一人の成長をしっかりと見守ることができた。
- ・園評価や保護者評価など具体的な資料を用意したので、それらに対する意見や日頃気付いている点など遠慮なく出していただき、今後の園運営に活かしていきたい。

3 副園長による委員の紹介

4 今年度の取組について 園長より

- ・園目標を計画的に教育・保育活動に活かすよう、カリキュラムマネジメントに配慮して取り組んできた。年間計画や月案、週案などの整合性を図りながら、5つの領域の内容や育てたい姿、研修テーマなどを関連づけて進めている。
- ・職員に対しては、それぞれのよさを発揮しながら協力して全体の業務効率を上げることを求めている。また、子どもに対しては、一人一人の発達の状況や個性を大切にしながら、自発的な態度の育成や自立を図ることを重視している。
- ・急激な少子化による園児数の減少が経営上大きな問題となっている。そんな中、一人一人の子どもを大切に、保護者との信頼関係をつくることが一層求められている。

5 園評価と保護者アンケートの結果について 主幹より

(1)園評価について

- ・全体的にA評価（十分達成されている）、B評価（ほぼ達成されている）で占められていて、高い評価となっている。特に保育の計画性や教育・保育活動の充実に対しては評価点が高くなっている。
- ・コロナの影響により実施できなかった地域との交流などは評価が低くなっている。しかし、コロナに制限されながら、内容を工夫するなどした結果、園行事に対する評価は高かった。
- ・給食に関する園評価は項目により高かったり低かったり両局面に分かれた。評価者の人数が少ないため、一人の評価が大きく全体の評価に影響するためである。ただし、C評価（やや不十分である）やD評価（不十分である）はほとんど無く、研修に関して唯一D評価となった。研修に関しては次年度の課題である。
- ・実際の給食に対しては、食物アレルギーの発症などもなく、子どもたちに安全でおいしい食事の提供ができた。行事食や季節食なども工夫され、子どもたちに喜ばれた。

(2) 保護者アンケートについて

- ・全体的に評価が高かった。園の教育・保育活動に対する感謝の言葉が多かった。
- ・園の子ども一人一人に対する配慮や支援が行き届いているという意見があり、当園の願いが保護者にも十分伝わっていると実感できた。
- ・子どもたちの園生活の様子をもっと知りたい、行事を行う際の運営の在り方を改善してほしい、などの意見があったので、今後の課題としていきたい。

6 双葉子育て支援センター「にこにこ」について センター主任より

(1) ふたば子育て支援センターの令和4年度事業報告について

- ・登録人数や利用状況について説明。
- ・地域の子育て支援センターとしての業務内容の説明
- ・イベント企画や情報発信について報告

(2) 利用者向けアンケートについて

- ・利用者によるアンケートを実施し、その結果について報告。
- ・利用者の感想や要望などの紹介。

7 意見交換

- ・コロナに対する対応にたいへん苦勞されたのでは。発生による学級閉鎖や休園などの措置を行う場合、関係機関との連絡や手続きなど大変な勞力を要すると思う。
- ・日々の消毒作業や衛生管理など、環境を整えることもたいへんだったと思う。
- ・子どもたちの様子を見させてもらったが、その成長に驚かされた。1年立つと、子どもたちはあんなに成長するんだと改めて気付かされた。それを支えてくれる先生方の苦勞に心から感謝したい。
- ・少子化による園児数の減少が顕著であることを説明したが、現状では一人の園児が貴重な存在である。これまで以上に一人一人の園児を大切にしなければならない。
- ・今回、新たに保護者の園に対する意識調査を行った。最も期待するのは安心安全な園であったが、2番目に多かったのは教育活動の充実である。今後は一層教育活動の充実に力を入れていきたい。
- ・今年度は就学前教育施設での不祥事が話題に上がった。通常では考えられないような事故や不祥事が発生し、改めて園の運営や管理体制が問われている。当園では、人権セルフチェックなどを行い、未然防止に努めている。

8 その他

9 閉会